

整理番号
1

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	広域常備消防活動運営事業				担当課	防災危機管理課
業務名	-				担当係	消防係
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	消防防災			事業区分	その他
主な取組	1	常備消防・救急体制の充実			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	9	1	2	広域常備消防活動運営事業	

目的と方針【PLAN】
あらゆる災害に強いまちづくりを進めるため、総合的な消防力の向上と防災・減災体制の一層の強化を図ります。

事業概要【PLAN】
広域的な連携のもと、職員の資質の向上や施設・装備の充実を進め、「伊達地方消防本部」による常備消防・救急体制の充実を図ります。

対象【PLAN】	伊達地方消防組合	意図【PLAN】	火災や事故等の災害、地震や風水害といった大規模災害から市民の生命・身体及び財産を守るため、消防力の強化を目指します。
-----------------	----------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
伊達地方消防組合においては消防庁で定める「消防力の整備指針」に則り、火災の予防、警戒及び鎮圧、救急業務、人命の救助、災害応急対策その他の消防に関する事務を確実に遂行します。市においては運営経費を負担し、経費の妥当性、透明性の確保、及び連携による消防力強化のため定期的に会議に参加します。

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	935,289	951,986	962,429	972,968		
	事業費合計	千円	935,289	951,986	962,429	972,968		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
主管課長会議、管理者会議、組合議会、指名委員会、出納検査への出席	回	実績値が目標値以上となること	目標値	21	21	21	21	21
			実績値	26	26			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	市民の生命・身体及び財産を守る消防力は必須となりますが、事務事業の優先度については低い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	消防庁で定める「消防力の整備指針」に則り、消防防災体制の強化を図っています。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	各種会合において効率化の検討がなされています。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	計上されている予算は、1市3町で構成している「伊達地方消防組合」への負担金となっており、負担金は消防組合の議会において承認された組合の安定運営に必要な諸経費を構成市町村で案分した額である。事業は適正に実施されていた。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
2

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	消防団活動事業				担当課	防災危機管理課		
業務名	-				担当係	消防係		
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	1	消防防災			事業区分	直営		
主な取組	2	消防団の活性化			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	9	1	3	消防団活動事業			

目的と方針【PLAN】
あらゆる災害に強いまちづくりを進めるため、総合的な消防力の向上と防災・減災体制の一層の強化を図ります。

事業概要【PLAN】
時代に即した消防団の活性化対策として、機能別消防団員を含めた団員確保対策の充実、団員の資質向上、施設・装備の充実、処遇の改善、常備消防との連携強化に努めます。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	消防団員充足率100%を確保するとともに、消防技術力を強化します。
-----------------	----	-----------------	-----------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
継続して若年層の団員勧誘（広報、ロコミ）を促進していきます。機能別団員（OB、女性、学生）を取り入れることにより多様化する災害に幅広く応じていきます。安全な消防活動を確保するため、訓練や装備品を充実させていきます。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	1,141	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	65	65	65	65		
	一般財源	千円	143,252	133,536	135,632	131,864		
	事業費合計	千円	144,458	133,601	135,697	131,929		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
消防団員の充足率 (定数に対する団員数の割合)	%	実績値が目標値以上となること	目標値	88.0	91.0	94.0	97.0	100.0
			実績値	88.9	87.7			
			達成率	100.0%	96.4%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	消防団は、市民の生命と財産を守り、地域の安心安全を確保する重要な任務を担っており、事務事業の優先度については高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	消防団は将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない存在です。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	火災、災害の発生件数が少なく、人件費（出動手当）については削減しています。火災予防啓発に努め、さらなる経費削減を図ります。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	全国的に消防団員数が逡減しているなかで、消防団等OBによる機能別団員制度を取り入れていくことにより、一定の団員数を確保してきました。しかし定員には及ばず、さらなる団員拡充に努める必要があります。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
3

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	消防施設整備事業（防災対策事業）				担当課	防災危機管理課		
業務名	-				担当係	消防係		
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	1	消防防災			事業区分	直営		
主な取組	3	消防水利の整備			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	9	1	4	消防施設整備事業（防災対策事業）			

目的と方針【PLAN】
あらゆる災害に強いまちづくりを進めるため、総合的な消防力の向上と防災・減災体制の一層の強化を図ります。

事業概要【PLAN】
火災や災害の発生に備え、消火栓や防火水槽などの消防水利の整備・更新を計画的に推進します。

対象【PLAN】	屯所、防火水槽、消火栓、消防車両、小型動力ポンプ等	意図【PLAN】	消防活動において、団員が円滑かつ安全に行動できる施設整備に努めます。
-----------------	---------------------------	-----------------	------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
老朽化した消防施設及び消防備品を定期的に更新していきます。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	169,100	93,600	101,600	101,100		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	3,690	2,966	1,460	948		
	事業費合計	千円	172,790	96,566	103,060	102,048		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
消防水利（消火栓・防火水槽等）の充足率	%	実績値が目標値以上となること	目標値	84.5	84.5	89.5	89.5	89.5
			実績値	85.0	85.0			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	火災・災害時に消防団員が円滑かつ安全に行動できる環境を整えることにより消防力を高めていきます。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	消防施設を整備することにより消防力を高め、災害に強いまちづくりに繋がります。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	防火水槽については、要望箇所が10か所程度あり、優先順位を定め年間1基の新設を計画しています。屯所の仕様を見直し、必要最低限の整備としているが、物価高騰が継続しており、事業費削減は非常に困難であります。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	消防屯所及び消防車両の老朽化に伴い、計画的に更新を進めており、事業は適正に行われた。しかし、物価高騰により建築費や車両価格が上昇しており、今後も起債の検討が必要である。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
4

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	災害（防災）対策事業（再掲）				担当課	防災危機管理課
業務名	災害時における情報伝達体制構築業務				担当係	危機管理係
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	消防防災			事業区分	一部委託
主な取組	4	総合的な防災・減災体制の確立			—	—
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	9	1	5	災害（防災）対策事業	

目的と方針【PLAN】
あらゆる災害に強いまちづくりを進めるため、総合的な消防力の向上と防災・減災体制の一層の強化を図ります。

事業概要【PLAN】
国・県等の動向及び防災関係機関の意見等を踏まえ、伊達市地域防災計画及び各種マニュアル等を整備します。
また、災害に備え、防災行政無線等各種システムの機能保持及び有効活用を図るとともに、出前講座等の開催により、災害の恐れがある区域及び情報収集手段の周知に努めます。

対象【PLAN】	①市民、自主防災組織 ②市、防災関係機関	意図【PLAN】	①「自らの命は自らが守る」という意識が醸成され、平時から災害に対する備えが行われている。 ②災害に備え、各種通信手段や防災機器が正常に機能するよう管理され、食料や資機材等が備蓄されている。
-----------------	-------------------------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市民、自主防災組織、防災関係機関等が地域防災計画に明記されているそれぞれの役割を認識するとともに、情報収集手段が確保されるなど、平時から災害時の対策が図られている。進捗管理の確認手段のひとつとして、災害時の情報収集手段であるアプリと登録制メールの登録者数を把握する。

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	3,800	5,500	17,000	7,200		
	その他	千円	0	0	0	5,251		
	一般財源	千円	61,357	57,244	64,080	58,584		
	事業費合計	千円	65,157	62,744	81,080	71,035		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
アプリ及び登録制メールの合計登録者数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	3,600	4,800	6,000	7,200	8,400
			実績値	4,590	4,785			
			達成率	100.0%	99.7%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	気候変動等により、全国的に気象災害の激甚化・頻発化が目に見える形で進んできており、市民の災害に対する備えへの意識が高まっている。住民の生命、身体及び財産を災害から保護する観点から、事務事業の優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	アプリ及び登録制メールの利用促進は、災害時における情報伝達手段として有効だと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	改正気象変動適応法の施行を受けて、新たに熱中症特別警戒情報の住民への伝達が市町村の責務となったが、熱中症関連情報を配信項目に追加し、既存の情報伝達手段の枠組みで対応した。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	改正気象変動適応法の施行に伴う対応として、6月初旬までに熱中症関連情報を伝達できる体制を整えることができた。 継続して登録者数の増加に努めたが、アプリ契約業者においても原因不明のアプリストアに起因すると思われる登録者数の減少が発生したため、数値指標の実績値の伸びが鈍化した。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
5

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	伊達市総合防災訓練事業				担当課	防災危機管理課
業務名	-				担当係	危機管理係
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	消防防災			事業区分	一部委託
主な取組	4	総合的な防災・減災体制の確立			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	9	1	5	伊達市総合防災訓練事業	

目的と方針【PLAN】
あらゆる災害に強いまちづくりを進めるため、総合的な消防力の向上と防災・減災体制の一層の強化を図ります。

事業概要【PLAN】
防災関係機関の組織体制及び役割分担等を検証・確認するとともに、住民の防災意識の高揚を図るため、防災訓練を開催します。
また、防災訓練の開催を通して、災害発生に備えた市と防災関係機関の関係強化を始め、平時から相互の連携強化を図ります。

対象【PLAN】	①市民、自主防災組織 ②市、防災関係機関	意図【PLAN】	①「自らの命は自らが守る」という意識が醸成され、平時から災害に対する備えが行われている。 ②災害時に円滑な連携が図られるよう、平時から関係機関相互の連絡体制が構築され、訓練が行われている。
-----------------	-------------------------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市民、自主防災組織、防災関係機関等が地域防災計画に明記されているそれぞれの役割を認識するとともに、防災訓練に参加するなど、平時から災害時の対策が図られている。進捗管理の確認手段のひとつとして、市民、自主防災組織、防災関係機関の防災訓練参加人数を把握する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	1,000	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	763	3,341	778		
	事業費合計	千円	0	763	4,341	778		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
防災訓練（個別訓練含）の参加人数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	350	500	500	500	500
			実績値	430	1,370			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	気候変動等により、全国的に気象災害の激甚化・頻発化が目に見える形で進んできており、市民の災害に対する備えへの意識が高まっている。住民の生命、身体及び財産を災害から保護する観点から、事務事業の優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	市民、自主防災組織、防災関係機関の参加による防災訓練の実施は、災害に備える上で有効だと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	伊達市においては初となる福島県総合防災訓練として開催した。訓練資機材の直営による制作や災害協定締結団体等の資機材提供及び参加協力により、費用の縮減に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	伊達市で初開催となった福島県総合防災訓練では、市民の防災意識の高揚と防災関係機関相互の連絡協調体制を確認することができた。 また、市民と市職員の参加による市内5地域での訓練では、昨年度から継続してHUGを実施し、避難所運営について共に考えることができた。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
6

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	自主防災組織支援事業（再掲）				担当課	防災危機管理課
業務名	自主防災組織資機材整備等補助業務				担当係	危機管理係
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	消防防災			事業区分	補助
主な取組	4	総合的な防災・減災体制の確立			—	—
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	9	1	5	自主防災組織支援事業	

目的と方針【PLAN】
あらゆる災害に強いまちづくりを進めるため、総合的な消防力の向上と防災・減災体制の一層の強化を図ります。

事業概要【PLAN】
自主防災組織の結成及び活動の活性化を図るため、資機材等整備及び訓練実施に要する費用に対して補助金を交付します。
また、地域における防災の担い手となる人材を育成するため、防災士資格取得に要する費用に対して補助金を交付します。

対象【PLAN】	自主防災組織	意図【PLAN】	市内すべての地区に自主防災組織が結成され、災害に備えた資機材の整備や訓練等が活発に行われている。 すべての自主防災組織に活動の担い手となる防災士が配置されている。
-----------------	--------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
自主防災組織の結成促進と活動の活性化を図るため、組織が主体的に行う資機材の整備や訓練を支援する。また、組織活動の担い手となる人材を育成するため、防災士の資格取得を促す。進捗管理の確認手段のひとつとして、自主防災組織の組織率を把握する。

事業費【D0】	年度	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	554	2,891	2,755	1,804		
	事業費合計	千円	554	2,891	2,755	1,804		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
自主防災組織の組織率	%	実績値が目標値以上となること	目標値	64.0	67.0	69.0	72.0	74.0
			実績値	62.1	61.5			
			達成率	97.0%	91.8%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	気候変動等により、全国的に気象災害の激甚化・頻発化が目に見える形で進んできており、市民の災害に対する備えへの意識が高まっている。災害時には、自助・共助・公助がそれぞれ有効に機能することが重要であることから、事務事業の優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	「自らの命は自らが守る」という意識のもとに自主防災組織が結成され、日ごろから地域における相互扶助による防災活動が行われることは、災害に備える上で有効だと考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	出水期前に市の広報誌に自主防災組織に関する特集記事を掲載し、自主防災組織の結成や補助制度の活用を促した。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	市の広報誌に自主防災組織に関する特集記事を掲載し、自主防災組織の結成や補助制度の活用を促した結果、前年度を上回る補助制度の活用が図られた。しかし、新たな自主防災組織の結成には至らず、世帯数の関係で組織率も低下した。今後目標を達成するためには、組織結成の機運を高め、組織率向上につながるかが課題である。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
7

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	工業団地浸水対策事業				担当課	商工観光課			
業務名	伊達工業団地・ヤナガワテクノパーク会連絡網				担当係	商工振興費			
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度			
施策項目	1	消防防災			事業区分	直営			
主な取組	4	総合的な防災・減災体制の確立			—	—			
予算科目	会計	款	項	目	大事業				
	1	9	1	5	工業団地浸水対策事業（商工観光課）				
目的と方針【PLAN】	あらゆる災害に強いまちづくりを進めるため、総合的な消防力の向上と防災・減災体制の一層の強化を図ります。								
事業概要【PLAN】	浸水被害のあった市内工業団地について、団地会と連携を図り、減災に向けた連絡体制を構築します。								
対象【PLAN】	市内工業団地立地企業			意図【PLAN】	災害発生時に備え、市内企業との連絡体制を構築し、迅速な対応に繋げること。				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	立地企業への担当者照会と連絡体制の構築。								
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円		0	0	0	0		
	地方債	千円		0	0	0	0		
	その他	千円		0	0	0	0		
	一般財源	千円		264	495	756	764		
事業費合計		千円		264	495	756	764		
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
連絡体制の更新		回	実績値が目標値以上となること	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	2	2			
				達成率	100.0%	100.0%			
(2) チェック項目による評価【CHECK】									
評価視点					評価の結果				
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 				緊急時対応に必須となる事業であるため、優先度に関しては高いものであると考える。				
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 				各企業との連絡体制を構築することで、災害発生時の迅速な対応に繋がることが期待される。				
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 				メールやFAXを活用した一斉照会で時間を削減しつつ、効率的に情報を集約する必要がある。				
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			今年度は、連絡網の更新はなかったが、令和7年度はやながわテクノパーク会の体制が変わるため、早期に確認し、連絡網を更新する。				

整理番号
8

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	自主防災組織支援事業（再掲）				担当課	防災危機管理課
業務名	防災士資格取得補助業務				担当係	危機管理係
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	消防防災			事業区分	補助
主な取組	5	地域防災力の強化			—	—
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	9	1	5	自主防災組織支援事業	

目的と方針【PLAN】
あらゆる災害に強いまちづくりを進めるため、総合的な消防力の向上と防災・減災体制の一層の強化を図ります。

事業概要【PLAN】
自主防災組織の結成及び活動の活性化を図るため、資機材等整備及び訓練実施に要する費用に対して補助金を交付します。
また、地域における防災の担い手となる人材を育成するため、防災士資格取得に要する費用に対して補助金を交付します。

対象【PLAN】	・市民 ・自主防災組織	意図【PLAN】	市内すべての地区に自主防災組織が結成され、災害に備えた資機材の整備や訓練等が活発に行われている。 すべての自主防災組織に活動の担い手となる防災士が配置されている。
-----------------	----------------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
自主防災組織の結成促進と活動の活性化を図るため、組織が主体的に行う資機材の整備や訓練を支援する。また、組織活動の担い手となる人材を育成するため、防災士の資格取得を促す。進捗管理の確認手段のひとつとして、防災士資格取得補助制度による資格取得者数を把握する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	554	2,891	2,755	1,804		
事業費合計		千円	554	2,891	2,755	1,804		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
防災士資格取得補助制度による資格取得者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	40	60	80	100	120
			実績値	42	49			
			達成率	100.0%	81.7%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	気候変動等により、全国的に気象災害の激甚化・頻発化が目に見える形で進んできており、市民の災害に対する備えへの意識が高まっている。災害時には、自助・共助・公助がそれぞれ有効に機能することが重要であることから、事務事業の優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	「自らの命は自らが守る」という意識のもとに自主防災組織が結成され、防災士が組織活動の担い手となり、日ごろから地域における相互扶助による防災活動が行われることは、災害に備える上で有効だと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	出水期前に市の広報誌に自主防災組織に関する特集記事を掲載し、自主防災組織の結成や補助制度の活用を促した。 また、防災士登録制度登録者等による防災士連携キックオフミーティングを開催し、市と防災活動の担い手となる防災士との連携体制の構築を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	すべての自主防災組織及び消防団への通知とホームページへの掲載により補助制度の周知を図った。 防災士連携キックオフミーティングを開催し、市と防災活動の担い手となる防災士との連携体制の構築を図った。また、福島県総合防災訓練への参加協力を要請し、防災士との連携による訓練を行った。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
9

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	避難行動要支援者対策事業（再掲）			担当課	社会福祉課
業務名	避難行動要支援者登録及び個別避難計画の作成業務			担当係	地域福祉係
基本目標	1	安全・安心できれいなまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	消防防災		事業区分	直営
主な取組	5	地域防災力の強化		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	社会福祉諸費	

目的と方針【PLAN】	あらゆる災害に強いまちづくりを進めるため、総合的な消防力の向上と防災・減災体制の一層の強化を図ります。		
事業概要【PLAN】	災害時に円滑で迅速な避難誘導のため、関係機関と共有する避難行動要支援者名簿の充実と、個別避難計画の作成を推進します。		
対象【PLAN】	避難行動要支援者	意図【PLAN】	大規模災害時に要支援者に対し、迅速な所在確認や安否確認、避難誘導など適切な支援を行うことにより、被害を最小限に抑える。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	要支援者名簿への提供同意、個別避難計画の作成		

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,550	2,391	2,193	2,082		
	事業費合計	千円	1,550	2,391	2,193	2,082		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
個別避難計画作成者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	1,800	2,200	2,500	2,800	3,000
			実績値	1,894	3,173			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	災害時の迅速な安否確認や避難誘導等や平常における見守り等の活用のため、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	個別避難計画作成者数の増加により、災害時に迅速な安否確認や避難誘導など適切な支援が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	避難行動要支援者個別避難計画書の様式を見直し、作成の負担軽減を図り、作成率の向上に努めた。提供する名簿の一部を個票形式から一覧表形式に変更し、経費削減を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	対象者への制度勧奨と合わせ、避難支援者となる世代へ制度の理解促進のため出前講座等による周知活動を行った。モデル地区を選定し、名簿を活用した取り組みを実施した。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
10

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	災害（防災）対策事業（再掲）				担当課	防災危機管理課		
業務名	出前講座実施事業				担当係	危機管理係		
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	1	消防防災			事業区分	直営		
主な取組	6	治山・治水対策の促進			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	9	1	5	災害（防災）対策事業			

目的と方針【PLAN】
あらゆる災害に強いまちづくりを進めるため、総合的な消防力の向上と防災・減災体制の一層の強化を図ります。

事業概要【PLAN】
国・県等の動向及び防災関係機関の意見等を踏まえ、伊達市地域防災計画及び各種マニュアル等を整備します。
また、災害に備え、防災行政無線等各種システムの機能保持及び有効活用を図るとともに、出前講座等の開催により、災害の恐れがある区域及び情報収集手段の周知に努めます。

対象【PLAN】	・市民 ・自主防災組織	意図【PLAN】	「自らの命は自らが守る」という意識のもと、ハザードマップ等により危険箇所が把握され、平時から食料や資機材等が備蓄されるなど、災害に対する備えが行われている。
-----------------	----------------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市民、自主防災組織、防災関係機関等が地域防災計画に明記されているそれぞれの役割を認識し、平時から危険箇所の把握や周知に努め、災害時の備えや対策に関する知識に基づく災害への備えが実践されている。進捗管理の確認手段のひとつとして、防災専門官などによる出前講座の開催回数を把握する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	3,800	5,500	17,000	7,200		
	その他	千円	0	0	0	5,251		
	一般財源	千円	61,357	57,244	64,080	58,584		
	事業費合計	千円	65,157	62,744	81,080	71,035		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
出前講座の開催回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	12	14	16	18	20
			実績値	18	19			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	気候変動等により、全国的に気象災害の激甚化・頻発化が目に見える形で進んできており、市民の災害に対する備えへの意識が高まっている。住民の生命、身体及び財産を災害から保護する観点から、事務事業の優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	防災に関する知識の普及と防災意識の高揚を図るためには、市民や自主防災組織等に対して行う出前講座は有効だと考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	昨年度から出前講座のメニューに追加したHUGを取り入れた出前講座を推進した。 講座の開催にあたっては、説明資料の共通化を図り、資料作成時間の削減に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	目標を上回る回数出前講座を実施し、危険箇所の周知や情報収集手段であるアプリと登録制メールの普及・啓発を行うことができた。 また、新たに追加されたハザード情報をWEBハザードマップで閲覧できるよう更新した。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
290

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	土木諸費（再掲）				担当課	建設課
業務名	治水砂防協会・河川推進団体等参画事業				担当係	用地企画係
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	1	消防防災			事業区分	直営
主な取組	6	治山・治水対策の促進			—	—
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	8	1	1	土木諸費	

目的と方針【PLAN】
あらゆる災害に強いまちづくりを進めるため、総合的な消防力の向上と防災・減災体制の一層の強化を図ります。

事業概要【PLAN】
国・県関係機関と連携し、危険区域指定箇所の治山対策、一級河川の流域全体における総合的な防災・減災対策を促進します。

対象【PLAN】	国、県	意図【PLAN】	国、県と連携し、土砂災害の未然防止対策・一級河川の流域全体における総合的な防災・減災対策を促進する。
-----------------	-----	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
国、県に対する要望活動

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	177	157	149	176		
	事業費合計	千円	177	157	149	176		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
国・県に対する要望	回	実績値が目標値以上となること	目標値	7	7	7	7	7
			実績値	7	7			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	市民の安全に関わる事業であることから、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	要望活動を継続していくことにより、事業化が図られている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	複数の要望活動予算を統合することにより、事務効率化を図っている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和6年度当初より他の要望活動と予算を統合して、事務効率化を図った。
--------	----	-------------------------	------------------------------------